

平成28事業年度

決算報告書

自：平成28年4月 1日

至：平成29年3月31日

国立大学法人愛媛大学

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,442	12,608	165	(注1)
施設整備費補助金	148	158	10	(注2)
補助金等収入	466	561	95	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	60	39	△ 21	
自己収入	24,084	25,766	1,682	
授業料、入学料及び検定料収入	5,264	5,212	△ 52	(注4)
附属病院収入	18,503	20,011	1,508	(注5)
雑収入	317	544	227	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,656	3,615	959	(注7)
引当金取崩	56	67	11	(注8)
長期借入金収入	876	932	55	(注9)
目的積立金取崩	-	160	160	(注10)
計	40,788	43,906	3,118	
支出				
業務費	34,891	35,631	741	(注11)
教育研究経費	17,992	16,623	△ 1,369	
診療経費	16,899	19,008	2,110	
施設整備費	1,084	1,129	44	(注12)
補助金等	466	561	95	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,656	2,830	174	(注14)
長期借入金償還金	1,692	1,670	△ 22	(注15)
計	40,788	41,820	1,032	
収入－支出	0	2,086	2,086	

注) 「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前年度よりの繰越額からの使用額 510百万円

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当及び年俸制導入促進費が追加交付されたことにより、予算額に比して決算額が165百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、(医病)基幹・環境整備等の計画変更及び、補正予算の措置により、予算額に比して決算額が10百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が95百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者の減少等により、予算額に比して決算額が52百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、高額医薬品の適用患者の増加や手術件数の増等により、予算額に比して決算額が1,508百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として保険料収入等により、予算額に比して決算額が227百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、国の各組織、特殊法人及び民間からの受託研究等及び寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が959百万円多額となっております。
- (注8) 引当金取崩については、賞与引当金の発生額に基づく取崩額が予算段階の見込みより多額であったことにより、予算額に比して決算額が11百万円多額となっております。
- (注9) 長期借入金については、(医病)基幹・環境整備等に係る借入計画の変更及び補正予算の措置により、予算額に比して決算額が55百万円多額となっております。
- (注10) 目的積立金取崩については、前中期目標期間繰越積立金により、予算額に比して決算額が160百万円多額となっております。
- (注11) 業務費については、(注1)に示した理由、病院収入増収に伴う支出の増加及び目的積立金の取り崩し等により予算額に比して決算額が741百万円多額となっております。
- (注12) (注2・9)に示した理由等により、予算額に比して決算額が44百万円多額となっております。
- (注13) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が95百万円多額となっております。
- (注14) 複数年度計画における受託研究費等により、予算額に比して決算額が174百万円多額となっております。
- (注15) 長期借入金償還金については、予算段階では把握できていなかった借入利率の確定により、予算額に比して決算額が22百万円少額となっております。